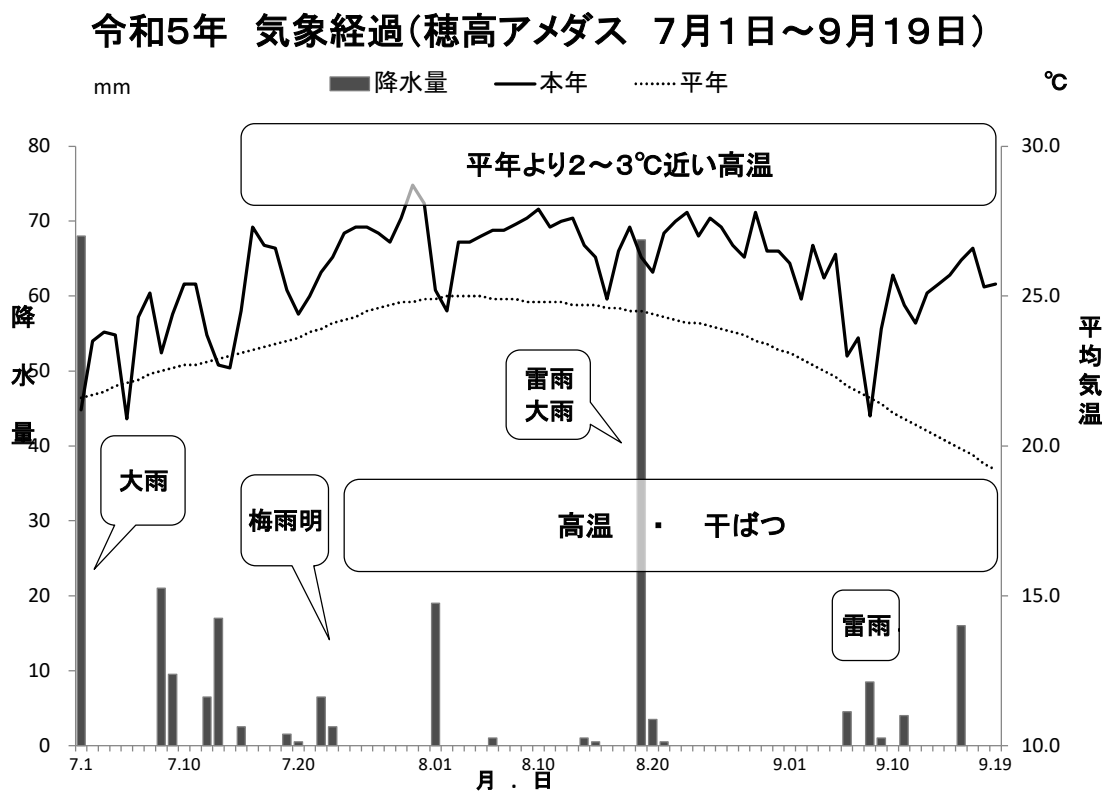


令和5年 作物技術普及情報 第16号

水稻の生育状況、大豆の干ばつ対策について

1 気象状況



平年より2～3℃位高い高温が続いています。特に9月中旬からは平年より5℃近く高温となっています。

8月18～19日や9月8日前後に降雨がありましたが、全体的には高温干ばつ傾向が続いています。

今後も晴れの日が多く、平年より高温が予想されています。気象庁から「高温に関する早期天候情報」（9月19日付）が出されており、9月25日以降はかなりの高温が予想されています。

1 水稻の生育状況と収穫の注意点について

9月19日現在、現地（平坦地）の生育状況

・コシヒカリ

4月末～5月初旬植	: 収穫終了
5月上旬植	: 収穫終了
5月中旬植	: 収穫晩限
5月下旬植	: 収穫適期

・風さやか

5月中旬植	: 収穫適期
5月下旬植	: 収穫直前～収穫適期

5月中旬に田植されたコシヒカリ圃場は収穫晩限となっています。また風さやかも収穫適期を迎えています。著しい高温で籾水分も20%程度に下がっており、穂の先端の籾の胴割れが増えてきました。

今年は刈り遅れると胴割れが多発する恐れがあります。籾の水分や帯緑色籾歩合を確認して早急に刈り取りを進めるようにお願いします。

3 大豆の干ばつ対策について

8月18～19日等の降雨で干ばつ害は一旦解消しましたが、9月中旬以降の高温の影響で、再び葉のしおれや反転等の生育障害が出ている圃場が増加しています。

令和元年9月の台風通過後のフェーンによる落葉・干ばつ害を思い出していただき、**水稻の収穫作業で極めて忙しい時期ですが、大豆の葉のしおれや反転が目立つ圃場では、必ず灌水を実施する**ようにお願いします（著しい干ばつによる減収・小粒化を避けるため）。

灌水にあたっての注意事項は、技術情報12号をご覧ください。